

## 山雅ファブリカン（岡山県岡山市）

### \*取り組みに至った背景

- ① 法人にする前は夫婦二人でやっていました。1日の労働時間も決まっておらず日の出から日没まで作業をしていた。出荷時期は夜間に作業をすることもありました。農繁期には休みをとることも出来なかった。
- ② 法人にしてパート4名（女性）を雇用しましたが、人材育成に時間がかかり、品質低下に繋がり売り上げが下がった。指導する側も感情的になり人間関係がうまくいかなくなっていた。
- ③ 作業内容によっては、体力面や機械を使う作業など、女性では難しい事があり、社長に頼らなければならず、作業待ちがあるなど、効率が悪かった。

### \*具体的な取り組みの内容（取り組みの効果）

#### ☆いつでも休みが取れる仕組み作り

- ① 作業の見える化・・・栽培作業、出荷作業を写真や動画でわかりやすいマニュアルを作った（どの作業も全員出来るようになり、誰が休んでもフォローできるようになった）
- ② 社長しか使えなかった機械や道具なども、従業員と一緒に自分達の言葉でマニュアルを作成（誰でも使えるようになり作業効率が上がった。作業が楽になった）
- ③ 年間作業スケジュールを作成。一年でどの時期が農繁期になるのかがひと目で分かるよう表にし、把握してもらい休日の取り方を考えてもらう。  
（忙しい時期に人手不足がなくなった）  
月別作業スケジュールを作成。細かい作業指示を見える化する。どの作業をいつまでに終わらせなければいけないのかを明確にする。  
（従業員が自ら考え、行動してくれるようになり、指示待ちが無くなり作業効率が上がった）

#### ☆ラインの活用

ぶどう・バナナ・ハウス等、作業管理別にグループラインを作り、各作業内容や作業状況を共有することによって、作業ミスを防ぐことができた。

離れた圃場においても的確な指示が出来、時短に繋がった。又、休んでいても仕事の進行状況を把握できるので、休日後、安心して作業に取り組めるようになった。

グループラインをすることで、コミュニケーションを図ることが出来、より良い人間関係の構築ができた。

従業員から色々な意見やアイデアもできるようになりチームワークが深まった。

### **\*取組成果\***

全体を通して従業員の意識が上がり、品質がかなり向上し、昨年は県の品評会で受賞することが出来ました。売り上げも増収しました。

従業員も仕事に対する責任感をもつようになり、やりがいにも繋がり、働きやすい環境になっていると思います。

### **\*取り組みに当たって苦労したこと**

まだまだ手探りで仕組み作りをしているところですが、詳しい知識がないので、マニュアル作りも何度も手直ししながら作っています。

まだ完全ではなく、課題が出来るたびに考えて改善しています。

### **\*今後取り組みたいと思っている事**

今年1月から女性研修生が入ってきました、5月からも女性従業員が入ってくる予定です。今の従業員の人材育成を強化し、しっかりとした組織作りを構築したいとおもっています。

### **\*課題解決の為にあればいいなと思う行政の支援**

女性が働きやすい環境を整えるのに欠かせない、圃場へのトイレの設置や女性向けに改良された農業機械や道具など、女性を雇用する為の設備投資の助成金などがあればいいなと思います。